

(様式3)

自己評価結果票 芦屋ケアセンターそよ風8/7

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域密着型サービスの役割をとらえた法人の基本理念を元に、入居者に対し『敬いの心』を持ってその人らしく共に暮らす事が出来る様に独自の理念を作りあげている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員は毎日の朝礼時に理念を全員で唱和し、また各勤務者がその日の目標を掲げて日常的に理念の具体化に向けて努力を重ねている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族や一部の近隣の方々にはことある毎に話しをし理解していただける様に取り組み、理念を掲示しているが地域住民すべてに理解してもらえるまでには至っていない。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>積極的に挨拶を行い、散歩や外気浴で近隣の方からも声を掛けて頂きベンチに腰掛け一緒にお話をしたり、庭に咲いた季節の花やお土産等を頂いたりしている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域自治会に加入し廃品回収などに参加している。老人会の集会の為に会議室を提供し、近隣からの要望で施設前に掲示板を設置し、施設情報や消防署などの情報も掲示している。また、夏祭りや餅つきの案内を配ったり、地域ボランティアの方々とも交流している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域老人会の集会場所の提供はしているが、地域高齢者の暮らしに役立つことについて話し合いや取り組みは出来ていない。</p>	<p>可能であれば、小さいことからでも取り組んでいけるように話し合っていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価を振り返り、一つずつでも改善していけるように取り組んでいる。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、いろいろな意見交換やアドバイスをいただけたが、実行出来ていない。</p>	<p>早急にアドバイス戴いた事を取り組み、まだ一回しか出来ていない為、定期的開催していく。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは報告・連絡・相談を常に行い、市内の介護事業者サービス連絡やグループホーム連絡会にも加盟してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業について学ぶ機会は持っていないが、入居者の中に成年後見制度を利用する方がおり関係者や主治医・ご家族とも話し合い、支援している。</p>	<p>職員全員が知ることが出来るよう、学ぶ機会を設けたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての研修を行い、職員間でも見過ごす事が無いよう声を掛け合い、防止の徹底が出来るように取り組んでいる。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者への影響を最小限に抑えられるよう引継ぎや時期をずらす等の努力はしているが、法人の為、異動はありえる。</p>	<p>入居者・家族に説明・対応し少しでも不安などを軽減していけるよう配慮する。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修・外部研修を掲示し、受講するよう奨励している。また資格を取る為の助成金制度もある。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>芦屋市介護事業者サービス連絡会やグループホーム連絡会に参加し、意見交換・交流している。</p>	<p>交換研修等の話も出ており、取り組んでいきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>一部職員の個人面談を行い、ストレスの軽減に努めている。親睦会などが定期的で開催されているが、日々のストレス軽減には繋がっていない。近畿支社の職員が専門の研修を受けており、その勉強会が開催予定である。</p>	<p>全職員の個人面談を行い、仕事に対する悩みなどを聞き、ストレスの軽減に努めたい。。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員の日々の目標を決め、掲示して職員同士が連携出来る様にしている。また、それぞれの能力に合わせ役割を持って働いてもらっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	センターを利用する前にも自宅訪問やセンターに見学に来て頂き、本人の様子や話から本人の意見を聞きだすように勤めている。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	電話や見学時にゆっくりと話を聞き、不安や悩みや求めている事等聞き、受けとめている。	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談時に現状と現在利用しているサービスなどを尋ねるなどし、他のサービスにどのようなものがあるかなどの対応をしている。	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前に見学に来て頂き、おやつや食事を一緒にとったり、自宅へ訪問を行いセンターの雰囲気に慣れていただけるようにしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の生活暦を把握し、一緒に食事・おやつを作ったり洗濯・掃除等の家事を行い役割の取り組みを支援している。入居者から料理や日本古来の行事の意味など教えて頂き、自身の回復に繋げ支えあって生活している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>28</p> <p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>情報の共有に努め、行事と一緒に参加して楽しんで頂いたり、また職員を助けて頂いたりしている。面会時は個人の居室だけでなくリビングで他の入居者の方々とも一緒に過ごして頂いている。</p>		
<p>29</p> <p>利用者との家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>入居に至るまでの話を伺い、面会時には最近の様子を伝えている。関係があまり良くない方についても、職員が間に入り少しで良い関係が築けるように支援している。</p>		
<p>30</p> <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会に来て頂いたり、電話や手紙で連絡を取り合っている。</p>		
<p>31</p> <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者同士の関係を把握・理解した上で、ユニット内だけでなく他の名ユニットの入居者とも関わりが持てるように職員が間に入り支援している。</p>		
<p>32</p> <p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>契約終了後の付き合いは、家族に偶然街中でお会いすれば挨拶し少し雑談する位でこちらから連絡を取っていない。</p>		<p>契約終了後の利用者家族に了解いただけたら、手紙などで関係を持つようにしたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1.一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の面接で入居者・家族の思いや希望を把握するように努め、顔の表情・言動等の様子、普段の会話から一人ひとりの思いを汲み取れるようにしている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前・入居後も本人や家族から生活歴を聞き、その人らしく生活が送れるように努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>全職員が把握出来る様に申し送り等で情報を共有している。</p>	
<p>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族からの意見・情報とかかりつけ医の意見を参考に職員とアセスメントを行い、介護支援専門員・計画作成担当者とケアプランを作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランは通常三ヶ月に一回見直しを行っている。入居者の心身の変化・希望・意向の変化がある時は状況に合わせて随時見直している。独自の『サービス経過記録表』を利用している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアの実践が一目で判るよう施設独自の ×式『サービス経過記録表』を使い見直しに活かせるにしている。介護記録・日報にて日々の様子・行動・状況を記録している。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者・家族の状況に応じ、通院や入退院の送迎を行い個々の満足を高めるよう努力している。また看護師を配置し医療連携体制を整え日常の健康面への専門的な配慮し重度化やターミナルに向けての支援が出来るよう取り組んでいる。</p>	
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>消防訓練や地域行事に参加したりボランティア等に協力してもらっているが、他の地域資源との関わりは少ない。</p>	<p>地域資源を活用してより地域と密着していきたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>他のサービスを利用することはない。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センター主催の職員研修に参加している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>二週間に一度、かかりつけ医による往診があり、緊急時や深夜や早朝でもすぐにかかりつけ医に診てもらえるような体制ができている。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>かかりつけ医は認知症専門医ではないが認知症について十分理解しておられ入居者の治療にあたってもらっている。</p>	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>職員に二名の看護師を配置しており、健康管理や支援をしている。</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>管理者と職員は、可能な限りまめにお見舞いに行きに入居者の状況を把握し、家族・病院の関係者と早期退院に向けての情報交換等の話し合いを行っている。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化や終末期のあり方について話し合っているが、状況の変化があった場合改めて入居者や家族とかかりつけ医と話し合いを行い、全員で方針を共有するようにしている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>かかりつけ医・家族・職員・看護師で相談し、少しでも入居者が『その人らしく生活を送れる』『できること・できないこと』を見極められるよう研修に参加し、支援体制がとれるように準備をおこなっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49 住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>どのようなダメージが想定されるかをご家族や関係者に伝え、ケア関係者でまめに情報交換を行い、利用者の負担の軽減になるよう努めている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりに合わせた声掛け・支援を行うよう心がけている。個人情報についても入社時に誓約書を取り交わし、個人記録は鍵のかかるロッカーのある事務所にて管理を行っている。毎朝の理念唱和の中にも含まれており、プライバシーの尊重に取り組んでいる。</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者との普段の会話の中で思いや希望を引き出せるような言葉掛けを行い、自己決定出来る様な生活支援を行っている。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>可能な限り入居者のペースに合わせ、起床・就寝・食事の時間はその人の生活リズムを尊重するよう支援している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入居者・家族の希望に添い訪問理美容だけでなく美容室に行ったり、食べこぼしなどした場合は、すぐに更衣していただけるように支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>法人を通して管理栄養士の立てた献立や食材の納品が行われているが、入居者との会話の中から献立を変更し希望する食事を提供している。また入居者にも一緒に準備や片付けをしていただき、職員も一緒に食事を楽しく召し上がって頂けるように言葉掛けを行っている。食事形態も個々に合わせて提供している。</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>季節に合わせた色々な飲み物やおやつを提供し。好みのもがあればリクエストして頂いている。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>二十四時間排泄を記録し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、自然な形で排泄出来るよう言葉で訴えることの出来ない入居者にはサインを見落とす事の無いよう目配りをおこなっている。また時間帯によって(昼間は布パンツ又はパッド・夜間帯のみ紙パンツ)使用を使い分ける支援をしている。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的には毎日入浴をおこなっている。入浴前にバイタルチェックを行い心身の状況変化によって入浴の可否を見極めている。体制上夜間入浴はしていない。入居者には理解していただげるよう説明し承頂いている。各ユニット浴槽が二つある為、仲の良い入居者同士の入浴も可能である。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>消灯時間は決めておらず、一人ひとりの生活習慣を尊重して就寝して頂いている。安心して気持ちよく休息したり眠れるように状況に合わせて個々に声掛けを行っている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた役割やリクリエーションを提供するようにしている。食事作り・盛り付け・配膳・後片付けや・掃除・洗濯干し・洗濯たたみ等またアニマルセラピーやボランティアによる催し等も行い、楽しみを持ってもらうようにしている。</p>	


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大切さは理解しているが、使う事は家族と相談の上で行っている。お金の所持は、基本的にはお小遣いとして事務所で預りしており日帰旅行などで一人ひとりに現金をお持ち頂きお土産や飲食を自身で支払う支援をしている。また一部の入居者は財布を持つことで安心されるので小額のお金をしている。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や外気浴の個別対応以外にも、毎年実施している日帰旅行の他、ドライブ・ショッピング・外食等の機会を定期的に作り支援している。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>入居者は家族と散歩・ドライブや外食をされている。普段行けないところに出かける機会があまり無い。</p>	<p>職員の勤務体制を工夫し、行ってみたい又は普段行けないところに出かけられるよう支援したい。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族・友達からの電話は取り次ぎ、希望がある時は電話をかけている。また手紙のやり取りの支援も行っている。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面接・外出は自由であり、居室やリビングで一緒に過ごして頂いている。また散歩やドライブ・外食にも出かけられている。</p>	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>理解している職員としていない職員がいるが、研修を実施し正しく理解するように取り組んでいる。また、生命にかかわる場合は、時間帯を決め家族に説明し同意書を頂いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>事故防止のため玄関は電子ロックでの開閉、エレベーターは一部利用制限を設けている。玄関を一時的に開放し、外気浴や草花の世話をするなど行っている。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員同士声を掛け合い、常に入居者に安全に過ごして頂けるよう見守り所在を把握するよう努めている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>保管は指定の場所を決めており管理している。一人ひとりの状態に合わせ、危険や事故を回避する取り組みを行っている。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>研修や事例やミーティングにより知識を学び、未然に防ぐことが出来るよう取り組んでいる。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変名・事故発生時に備えた早見表のようなマニュアルを作成している。消防署で行われている救命救急の研修に参加している。訓練は定期的に行われていない。</p>	<p>定期的に研修など行う。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>入居者も加わり定期的に避難訓練を実施している。近隣の協力も得られる付き合いを行っている。また災害時に備え法人内（兵庫ブロック）に食料品等の備蓄ができています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居時・状況・状態の変化の都度、家族に説明し対応策を話し合っている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝決まった時間にバイタル測定（血圧・脈・検温）を実施し、それ以外にも入居者の表情・顔色・言動・食事分量・排泄に注意し体調管理し、職員間で申し送りを行い情報を共有している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬は職員の管理の下、服薬していただいている。薬剤師による研修に参加しているがすべての職員が入居者一人ひとりが使用している薬を理解できていない。</p>	<p>月一回のユニット会議時に理解できるよう勉強会の時間をとりたい。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食事・水分量・排泄記録にて把握し、出来るだけ自然排便を促すように乳酸品を摂取したり身体を動かしていただいている。かかりつけ医にも相談し薬を処方してもらっている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた口腔ケアを食後に実施している。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの食事・水分摂取量を記録し職員は把握し脱水など未然に防ぐよう努めている。法人の管理栄養士の立てた献立にてバランスの良い食事を提供している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する取り決めがセンター内であり、またマニュアルもある。テンフルエンザは基本的に入居者・職員とも予防接種を受けている。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は使用前に熱湯をかけ、食器などは使用後に乾燥機にて熱消毒を行っている。また毎日夜勤者が包丁・まな板・スポンジなど消毒し衛生管理を行っている。食材は前日もしくは当日に調達して新鮮なものを使用するようにしている。		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花や緑を植え、ベンチを設置して近所の方と座って話しをしたりして優しい雰囲気作りを心掛けている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体的に木目を使用し、ソファや畳の空間を作り入居者にゆったりとくつろいでもらえるようにしている。季節の花や作品等を飾り、窓を開け風を取り入れ四季を感じて頂けるように配慮している。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには畳とソファがあり、廊下に椅子を設置し自由に過ごして頂けるようにしている。また玄関入口や2階ベランダにもベンチがあり思い思いに過ごして頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者・家族と相談し自宅で使い、慣れ親しんだ物品を持ち込んで頂きその人らしい居室作りをしている。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>開設時に近隣住民との取り決めで窓が開けられない居室があり、換気扇とエアコンとでの対応となっているが共用空間では窓が開けれるのでその日の気温・天候により窓を開けてたりエアコンで調節をおこなっている。。</p>	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>共有部分に手すりを設置し、建物内部に段差がほとんど無く安全な生活を送れるようにしている。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状況に合わせ、時間がかかっても出来る事は自身ですて頂き、その人の個性に合った役割を持って生活して頂けるよう支援している。</p>	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周り・ベランダにはベンチを設置し外気浴を楽しんで頂いたり、草花や野菜を植えお世話をしていただいている。ベランダでは洗濯物を干していただき生活の場であることを認識または感じて頂いている。</p>	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)